

令和5年度 学校経営方針・計画（概要版）

令和5年4月12日
江戸川区立鹿骨中学校

学校経営基本方針

めざす教育

学習指導要領前文（育てる資質・能力）

「一人一人の生徒が、自分のよさや可能性を認識するとともに、あらゆる他者を価値のある存在として尊重し、多様な人々と協働しながら様々な社会的変化を乗り越え、豊かな人生を切り拓き、持続可能な社会の創り手となることができるようにすることが求められる」

めざす学校

共に磨き合う、みんなが幸せになる学校
<指導指針>

「共磨き 対話と体験」

～一人一人の成長～

学校のよいところは、多様な友達がいて、先生がいるところ。対話と体験を通して、共に磨き合うことができる場所である。成長が幸せをつくる。

めざす生徒

鹿骨中生は素直で勤勉、よいところを伸ばす
<教育目標>

1. 自ら学び考えて行動する生徒
 2. 思いやりのある豊かな心をもった生徒
 3. 健康で明るく勤労と責任を重んじる生徒
- 主体的に切り拓く、自ら進んで、対話を大切にし、健康で、自他を大切にする

教育課程の編成方針

□ 人権を尊重する教育

人間尊重、多様性の尊重、機会の均等など全教育活動を通じて、人権尊重の精神を根底に教育活動を行う

□ こころの教育

すべての教育活動を通して、思いやりの心と自立の心、感謝の心を育てる。道徳科を要として道徳的価値観と実践力を育てる

□ 安全で安心できる教育

生活安全、災害安全等を日常的な指導、生きづらさ、学びづらさの解消のための支援、感染症の拡大防止を重視する

□ チーム鹿骨とする教育

教職員、保護者・地域社会がチームとなり、生徒の成長を支える。PTA、学校応援団と学校が連携し、「共育」を推進する

学びを支える

めざす教職員

チーム鹿骨で生徒を最も大切にする教職員、指導力、支援力のある教職員、自ら学び続ける教職員、30年後を見て教育ができる教員、保護者、地域と協働できる教職員、保護者の思い、地域の願いを受け止める教職員

学びを支える保護者・地域

生徒の成長を願い、支え、行動できる保護者・地域、学校の応援団として、教職員と協働できる、学校教育を理解し、意見を述べ、共に考える

学びを支える教育行政

誰一人取り残さない教育行政、共生社会の実現に向けた教育を推進する、生徒の学力向上を支援する、教職員の資質向上の学びを支える、保護者の子育てを支える。

本校の課題と取組

□基礎学力

一人一人の課題を解決できる授業（数学習熟度別少人数授業）

□失敗を恐れず、挑戦する力

対話と体験（職場体験、ボランティア活動、ゲストティーチャー授業）

□不登校

相談体制の周知とカウンセリングマインド（学級懇談、面談）

□ICT活用

一人1台端末の有効活用（ICTを活用した振り返り）

重点目標

具体的な目標

取組

I 学力向上

学び方を身に付け
自ら学ぶ力の育成

- | | |
|--|--|
| 1 授業を大切にする
授業が根幹。主体的・対話的で深い学びの実現 | (1)わかる授業「鹿骨授業スタンダード (SJS)」「あじみこし」
(2)ICT活用「振り返りの重視」teams活用、板書等の学習記録 |
| 2 対話と体験を大切にする
対話と体験を生かし、多様な他者と磨き合う | (1)対話的学習活動「ペア・グループ学習」、思考ツールの活用
(2)体験的学習活動「ゲストティーチャー」 |
| 3 学習評価を大切にする
自らの学習を振り返り、学習を改善できる力 | (1)アセスメントの評価 学習の成果と課題を明らかにした学習改善
(2)指導改善のための評価 指導と評価の一体化 |
| 4 個を大切にする（個別最適化）
一人一人異なる課題。自ら発見し、解決できる力 | (1)数学科「習熟度別少人数授業」の全学年、全学級で導入
(2)学習計画力の育成 定期考査前学習計画表、学習習慣確立 |

II 心の教育

思いやりのある
豊かな心の育成

- | | |
|--|---|
| 1 道徳教育の充実
道徳科が要。道徳的価値観、道徳的実践力 | (1)道徳科年35時間 22項目の完全実施
(2)「振り返り」ポートフォリオに基づく評価 |
| 2 総合的な学習の時間のテーマ「生きる」
キャリア教育の充実、体験学習と探求的学習 | (1)職業調べ、職場体験「チャレンジ・ザ・ドリーム」、進路学習
(2)読書科で朝読書と探究学習「調べる学習」 |
| 3 生徒会活動、学級活動の充実
責任を果たし、協働できる力 | (1)生徒会活動（委員会活動）学級活動の主体的な取組、SDGs
(2)ボランティア活動 花いっぱい運動、清掃活動、地域清掃 |
| 4 特別支援教育
生きづらさに寄り添い、学びづらさの解消 | (1)特別支援教室 巡回教員によるコミュニケーションの指導
(2)専門的な相談体制 SC、SSW、関係機関と連携した不登校対策 |
| 5 健全育成 安全・安心
基本的な生活習慣の定着。暴力ゼロ、いじめゼロ | (1)暴力、いじめの根絶 体罰・いじめアンケート、いじめ撲滅宣言
(2)情報モラル ICT授業規律、SNSルール セーフティ教室
(3)「命の授業」 避難訓練、安全指導、災害安全体験学習 |

Ⅲチーム鹿骨

共に育てる「共育」

- | | |
|-----------------------------------|---|
| 1 信頼される学校
約束した教育活動をやりきる | (1)学校公開（年3回）と広報活動 開かれた教育課程の実践
(2)学校評価 計画的な実施と説明責任
(3)働き方改革 定時退勤日、業務効率化、部活動ガイドライン |
| 2 学び続ける教職員集団
研修の日常化、資質・能力の向上 | (1)授業改善研修 SJS、全教員研究授業、ICT活用
(2)生徒理解研修 特支教室の運営、発達障害の理解、QU研修
(3)服務研修 年4回全体研修、日常的な研修、個人情報取扱い |
| 3 「共育」を実現する
地域社会の教育資源の活用 共に育てる | (1)ボランティア活動 花いっぱい運動、地域清掃等
(2)外部教育資源活用 職場体験学習、マナー講座、SOS教室、江戸伝統工芸教室
(3)PTA、学校応援団 地域の情報ネットワークの構築 |
| 4 教育行政の施策・支援
区、都の教育施策の効果的活用 | (1)学力調査の活用 全国学力調査、都学習状況調査
(2)ICT・校務PC活用 「テトル」「ミライシード」
(3)放課後補充教室 校内無料塾 |

「わかる授業」とは
学校生活の中心は授業
生徒が、
「何を学ぶのか」
「どのように学ぶのか」
「何を学んだのか」
がわかる授業のことです

＜鹿骨授業スタンダード（SJS）＞
全授業でスタイルを統一する
「本時の目標」
授業の目標（ゴール）を確認しよう
「学習活動」
学習の流れ、手順を確かめよう
「振り返り」
学習の手ごたえを確かめよう

「あじみこし」
授業規律、生活習慣の確立
あ：あいさつ
じ：時間
み：身だしなみ
こ：言葉づかい
し：姿勢